

CERRESA

NO.167



<http://www.jaceresa.or.jp/>

特集 郷土に残る農の昔話

セラサ
8

2011.August

昭和39年に市役所を退職してからは、町会の役員や民生委員など、様々な地域活動に携わってきた中山さん。中でも特に尽力したのが昭和42年から平成16年まで38年間に亘って務めてきた保護司としての活動でした。

任期中、約200人に上る人たちの更正に尽力してきました。

「保護司は気軽に本心を語ってくれるようにするためのコミュニケーションが大切です。相手からは先生と呼ばれますが、先生なんて柄じゃないし、上から見るのではなく、相手と同じ目線で話す事を心がけています」。

社会復帰には雇用を請け負ってくれる協力企業主の存在も不可欠。そうした企業に足しげく出向いては、勤め先の確保に力を注ぎました。それでも企業側

の都合で断られることも多いそうです。そうした努力が認められ、平成15年の秋の叙勲では瑞寶雙光章を授かりました。「これまで世話をした中で、再犯を

■ ひゅうまん 永年に亘る保護司活動

多摩区生田 中山 富男さん



起こした人は出ていないので、ホッとしています。微力ながら多くの若者の手助けが出来たことは、自分でも満足しています」と語ってくれました。



contents

特集

郷土に残る農の昔話	3
川崎探検隊 籠口の池から江姫ゆかりの化粧面谷へ	8
Pick Up	10
逸 押し花で作った絵 中原区 古尾谷 たさ子さん	14
パワー全開 宮前区 鮫島 隆さん	16
食&農 ニガウリ	17
インフォメーション	22

今月の表紙

夏の花ヒマワリ

切花用に栽培が盛んになったヒマワリ。夏の代表的な花として市場人気も安定しています。

また、一般出荷用以外に直売でも人気で、野菜畑の脇に栽培してある光景も良く見るようになりました。

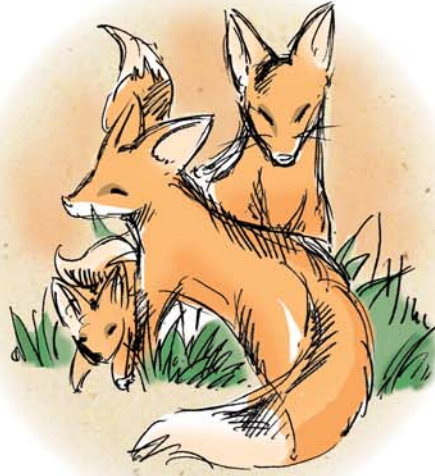
表紙のヒマワリはタキイのサンリッチレモン。花卉の色がレモンイエローで中心が褐色、無花粉系の一代交配種です。



龍ヶ谷池の龍伝説



下小田中の狐の話し



郷土に残る農の昔話



久末義民地蔵の由来

首都圏の中樞を担う大都市川崎。昭和から平成にかけてその変貌は著しく、そこには古くから伝わる伝統文化や言い伝えなどは、もはや消え去っているかのようにも見受けられます。それでも注意深く人々の生活の隅々に目を向ければ、農村文化の断片は今でも静かに息つき、そこかしこに昔話や伝統行事を見つけることが出来ます。ここでは、そうした昔話を四つの地域からそれぞれ一つずつ選び、現代の視点から見つめ直すことで、時代を越えて今に伝わる、郷土の伝説の真の姿と、そこに暮らす農に働く人々の生活の一端に触れてみたいと思います。



小倉池の龍宮伝説

小倉池の龍宮伝説（幸区小倉地区）

幸区の小倉地区にはかつて小倉池と呼ばれる大きな池があり、田畑を潤す水源として使われていました。小倉池は小倉用水によって

二ヶ領用水と結ばれ、さらに鶴見川とも繋がっていました。池の歴史は古く、江戸時代より前からあったそうです。その大きさは時代によって異なり、小さい時には1町（100^ア）ほどの大きさでしたが、大きい時には8町の広さを持つていたと言われています。その小倉池には不思議な伝説があり、今も小倉の人たちによって伝えられています。

小倉池にはお釜と呼ばれる特別



深い場所がありました。お釜の近くには、「みその」という屋号を持つ家があり、おじいさんとおばあさんが住んでいました。

ある年の初め、おじいさんはナタを持って、どんど焼きに使う繭玉を飾るため、柳の枝を取りに出かけました。さつそく池の淵の柳の枝を切ろうとして、誤ってナタを小倉池のお釜に落としてしまいました。「あつ」と声を上げて急いでナタを拾おうとしましたが、屈んだ拍子に池に落ちてしまい、そのまま沈んでしまいました。

おばあさんはいつまでも帰って来ないおじいさんを、死んでしまったものと思い、毎年命日に供養をしていました。

おじいさんがいなくなつてからちようど3年目のある日のこと、おばあさんが村の人たちと、おじいさんの法要をしていると、その場へおじいさんがひょっこり現れました。おばあさんも村人たちも、腰を抜かささんばかりに驚きました。そんな周りの人たちの驚きを気に

せず、おじいさんは「龍宮城へ行ってきた」と話し、お土産にもらった玉手箱を差し出しました。一同はどれどれと、集まり箱を確かめようとフタを開けたとたん、おじいさんが突然倒れ、そのまま死んでしまいました。

箱には龍の鱗と観音様の像が入っていたそうです。人々はこれは龍の祟りに違いないと話しました。その後おばあさんは悲しみながらも、供養のために龍の鱗と観音様の像を近くの無量院に納めたそうです。

小倉池の思い出

小倉池は昭和30年代に埋め立てられ、小倉地区での稲作も、昭和50年頃には終わりを告げました。

そうした小倉池の変遷を知る1人、かつて小倉で稲作を行っていた小沢哲夫さんに、小倉池の思い出を語ってもらいました。

「今のJA日吉支店の近くに小倉用水池の碑が建てられています。あの場所に堰があり、その辺りが一番広く、良く泳いで遊んでいましたね。池の周りはガマやヨ

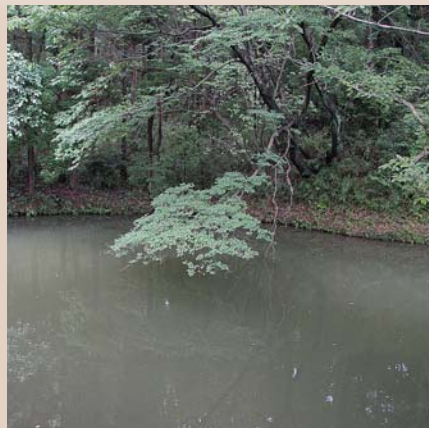


小倉池を偲び庭でガマを育てる小沢さん

シが生い茂る湿地帯でした。9月のお彼岸の頃に堰を開けて水を流し、村をあげて魚捕りをしました。鯉やウナギ、ライギョもいました。4月には小倉の農家全員が集まって、小倉用水が分流している二ヶ領用水の鹿島田の堰まで用水周りの草を刈りに出かけました。苦労もありましたが、小倉池は懐かしく楽しい思い出が多かったですよ」。

現在、池の跡は学校や住宅地となり、風景も当時とは様変わりしています。そうした中、わずかに用水路の跡が緑道として当時の痕跡をとどめ、小倉池を偲ぶ縁となっています。

龍ヶ谷池の龍伝説 (麻生区早野地区)



昔々、早野の里に、とても器量良しで気だての良い娘が、働きの父親と2人で、静かに暮らしていました。

ある日、娘が里山を歩いていて、と、ヘビがウサギに噛みついていて、ヘビを見かけました。心の優しい娘は、ヘビにむかって「私が代わりになるからそのウサギを助けてあげて」と言いました。するとヘビはウサギを放し、するすると姿をくらまし、ウサギも喜んで藪の中へ逃げていきました。

そんなことがあった次の日、今度は父親が畑仕事の最中にヘビがカエルを飲み込もうとしているの

を見つけてきました。父親はそれを見て「助けてやれ」と言うとも無しに言葉をつぶやきました。すると、どこからともなく「それなら代わりにおまえの娘をもらうぞ」と声が聞こえました。父親はまさかと思いましたが、すぐに気のせいだと思い、つい「好きにしろ」と口走ってしまいました。

さてその夜、父親の家の戸をトントンと叩くものがいました。父親が戸を開けるとそこには若い男が立っていて「約束どおり娘をもらいに来た」と言いました。父親はビックリして戸を閉めると「7日間だけ待ってくれ」と叫びまし



た。それから父親はどうしたものかと思案を重ねましたが、妙案も浮かばず7日が過ぎてしまいました。7日目の夜、また家の戸を叩く音がすると、父親は娘を納戸の中に隠し、戸を少し開けて見ると、何とそこには龍の姿がありました。ビックリした父親は戸をピシヤリと締め「だめだ」と言って戸を必死で押さえつけました。すると今度は外でドタンバタンと大きな音が鳴り続け、やがて静かになりました。父親はなにが起きたのかと思ひ恐る恐る戸を開けると、そこには血だらけになって死んでいる龍と、去ってゆく無数のウサギの姿がありました。

龍を哀れに思った父と娘は、龍の亡骸を丁寧に谷戸に葬りました。やがて龍を埋めた場所に水が溜まり池が出来ました。そこが早野の七つ池の1つ、龍ヶ谷池なのだそうです。

七つ池の今とむかし

早野で農業を営む守谷昭雄さんは、子どもの頃から長い間、七つ池と共に生活をしてきました。

「早野では七つ池の管理組合を作って池の周りの草刈りやゴミ拾いなどを行っています。池の水は今では川崎市の管理になっていますが、昔は村で行っていました。田植えの頃には村で相談して堰を開け、水を流していました。昔は年に2回ほど、池に溜まった泥を掻き出す作業もしていました」。

七つ池は里山からしみ出す雨水をためて出来ているそうで、泥の除去をしていた頃は、とても澄んだ水をたたえていたそうです。

「龍ヶ谷池の伝説の本当のところは分かりませんが、確かに龍がいても不思議ではない程、綺麗な水でしたね。私も良く泳ぎましたよ」。七つ池の水は今でも早野の田んぼに引かれ、早野の農業を支えています。



農作業の合間に池を見回る守谷さん

下小田中の狐の話し（中原区下小田中地区）



っていたそうです。

その娘は「おひなと申す者ですが、井田の親戚の家まで参るところ、暗くなりそうなので、少し一緒に歩いてくださいませんか」と願いだした。おじいさんは訝しげに思いながらも承諾すると、2人で井田の方向へ歩いて行きました。少し歩くと、手に持っていた弁当箱が引つ張られるような感覚があり、力を込めて思いっきり引つ張り返すと、勢い余ってすってんころりんとでんぐり返ってしまいました。起き上がるとすぐ目の前の田んぼを1匹の狐が駆け抜けていくのが見えました。いつの間にか娘もいなくなり、もしやと思つて弁当箱を開けてみると弁当はすっかり空になっていたそうです。

狐にまつわる体験談

下小田中がまだ村だった頃の話。ある日、おじいさんが、田んぼの草取りを終え、そろそろ帰ろうかと、少し食べ残した弁当箱を拾い上げたところ、「もしもし」と後から声が。振り返ると田んぼのあぜ道に、それはそれは綺麗な娘が立

のあたりは一面の田んぼで、所々に藪が生い茂っていました。いつの頃からか、その藪の中に、おひなと権九郎の夫婦、そしてその子のピンスケと言う3匹の狐が住み時々出てきては、田んぼで仕事をするとする村人をたぶらかしていたそうです。3つのお稲荷様は、これ以上悪さをしないよう3匹の狐を鎮めるため、村人が祀ったものだと思います。

下小田中の田邊さんのお父さんは、かつて大戸小学校を建築する際に、その先頭にたつて誘致活動をしていました。その時に田邊さんの身に降りかかった狐にまつわる不思議な話を聞かせてもらいました。

「昭和15年、私が4歳の時にハシカにかかったのですが、兄が子どもの頃にハシカで亡くなっているのので、父はとても心配したそうです。医者に診せるだけでなく、神仏にもすがり、中丸子の祈禱師に占ってもらいました。その時、祈禱師から、この子のハシカは狐が原因ではないかと言われたそうです。祈禱師が言うには『狐が自分を祀っている祠が壊されそうに



ピンスケ稲荷について語る田邊さん

なっているのので、助けを求めているようだ」とのこと。父は、もしやと思い、急いで大戸小学校の造成工事の現場に向かいました。

そこでは今まさに小さなお稲荷様が壊されようとしていました。父は工事関係者に事情を話し、祠を移転させることにしました。それが今、大戸小学校の門の脇に祀られているピンスケ稲荷です。移転が決定したとたんに、私のハシカは治ったそうです。それ以来、父はピンスケ稲荷を大事にして、毎年2月には初午の会を開き、会長としてピンスケ稲荷の保全に力を注いできました。現在は進さんのお父さんの跡を継いで、初午の会の会長を引き継ぎ、ピンスケ稲荷の話しを伝え続けています。

久末義民地蔵の由来 (高津区久末地区)

元禄6年(1693年)。久末村を治めていた領主の佐橋内蔵助は、幕府の儉約令が出される中、贅沢を樂しみ、遊興にふけていました。ある年、彼はさらに私腹を肥やそうと、農民に対して申しつけていた毎年の年貢を、220石から320石に増やすことを決め、久末村の領民に命じました。

それまでも苦しい生活に耐えて年貢を払ってきた村人は、「このままでは村人はみな飢えてしまう」と困り果ててしまいました。

そうしたある日、久末村に一人の旅の僧侶がやって来ました。困り果てていた村人達は仏にすがる思いで、僧侶に窮状を話し、「この先どうしたものか」と尋ねました。僧侶は、「もはや門前で訴えるしかあるまい」と話しました。

当時、支配者宅の門前へ押しかけて訴える門訴は御法度で、首謀者は死罪や遠島が課せられる重罪でした。それでも意を決した村人達は門訴を決意しました。

門訴には3人の代表が選ばれ、早速江戸の佐橋の屋敷へと向かい

ました。しかし、それきり帰ってきませんでした。そこで村は次に6人の代表を送ることにしました。しかし、その6人も1人として戻って来ませんでした。こうして最終的には合計3回、村人男女合わせて計20人が江戸に向かったまま帰らぬ人となりました。

そんな数日後のある日、門訴に出かけた20人の1人、森五兵衛と言う者が、命からがら村に戻って来ました。五兵衛の話から、一緒に行った他の19人は毒を盛られ、牢内で非業の最期を遂げたことが



わかりました。

それから間もなく、佐橋内蔵助は命を奪った村人の怨霊に悩まされた末に命を落とし、年貢は元に戻されたそうです。

その後、久末村では門訴に出かけ命を落とした村人の勇気を称え、地蔵尊を建立しました。それが今も久末に残る義民地蔵です。

受け継がれる供養祭

義民地蔵は事件後50年経ってから、旧中原街道沿いに建てられました。事件後すぐには、事件のことを口にすることがはばかられたと言います。また領主側の公式文書にはこの事件についてなんの記録も残されていません。事件の真相は、親から子へ口伝で受け継がれてきました。義民地蔵は、その後妙法寺境内に移され、また蓮花寺の境内には供養塔も建てられ、永く祀られています。

久末には門訴で命を落とした農民の子孫の家が、今も数多く残っています。また、そうした家を中心に久末義民地蔵講が作られ、講中約70人ほどが毎年7月24日に義

民地蔵前に集まり、供養祭を行っています。会長を務める森武男さんは「尊い犠牲の上に今の久末の農業があります。久末小学校の授業でも取り上げていますが、我々も後世に伝える努力を続けていかなければ」と話し、義民地蔵を守る決意を示しています。



しめやかに行われる供養祭

化粧面谷公園

江戸時代始めの王禅寺村は徳川二代將軍秀忠夫人、江姫(お江与の方)の化粧料を賄う幕府の直轄地で、化粧面谷公園の辺りには、江姫がお化粧に使った紅花も自生していたと言われています



巨大な琴平神社の鳥居
本殿は交差点脇の山の上
にあります



今回は王禅寺地区の農業用溜池、籠口の池から、現在NHKで放映されている大河ドラマ「江」の主人公、江姫とゆがりのある化粧面谷公園を訪ねます。

小田急線柿生駅からバスに乗り、麻生不動入口で下車。バス停から西側の丘には、だるま市で知られる麻生不動院があります。今回目指すのは東側の丘です。最初のビューポイント籠口の池は、静かな佇まいを見せる住宅地の中にあつて、昔ながらの里山の面影を残し、四季折々に違った風情が味わえる市民の憩いの場です。籠口の池の先、住宅地を取り巻く車道の右側

には、杉木立が連なる涼しげな林が広がり、王禅寺すぎのき緑地へと続いています。

丘の上の高級住宅地と、それを取り巻く斜面には緑の林。その間に点在する畑。そうした風景が、この地域の大きな特徴です。

戦乱の時代を生き抜いた大河ドラマの主人公に思いを馳せつつ、森の緑を満喫しましょう。時間があれば、せせらぎが流れる王禅寺ふるさと公園へ足を伸ばしても良いと思います。最後に、今回のコースは坂や階段が多いので、夏場は汗をかきやすく、熱中症対策を忘れずに。



籠口の池

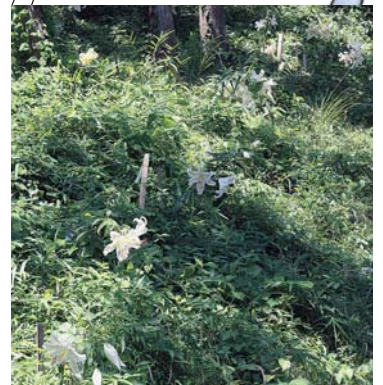
柿生地区最大の用水池。昭和初期には鯉の養殖も行われていました。また、江姫の死後、巨大な白蛇に化身し、夜な夜な籠口の池へ水を飲みに来たとの伝説も残されています



麻生不動院だるま市
毎年1月28日に行われます。当日は500軒もの露店が所狭しと並び、活況を呈します



野菜直売所
籠口の池へ向かう道の脇には畑があり、新鮮な野菜やブルーベリーを即売しています



王禅寺すぎのき緑地
7月には見事なヤマユリの群生が見られます

地元で人気の和菓子のお店
和菓子の店「広喜屋」では禅寺丸柿をイメージした「柿ごろも」を販売。生の柿をすりつぶして白あんと混ぜ合わせ、本物の柿のヘタを添えた手作り和菓子。柿生名物として地元の人たちに愛されています



新・農業委員決まる 会長に小林騰氏が就任

任期満了を迎えて、川崎市農業委員の一般選挙が告示されましたが、立候補者が定数20人と同数のため、全候補者が無投票当選となりました。7月11日に当選証書が

付与され、25日に第1回総会が行われました。会長に小林騰氏、会長職務代理者に井上義雄氏が就任。新しい川崎市農業委員は以下の方々です。

()は地区名 敬称略・順不同



原 壽男(中原)



長瀬 和巳(中原)



小宮三智雄(橘)



森 修二(橘)



三富 竹雄(高津)



井上 義雄(宮前)



朝倉 敏夫(宮前)



柴原 道夫(宮前)



大木 次郎(向丘)



村野 政巳(向丘)



小川 耕平(向丘)



小林 秀夫(稲田)



河合 亀蔵(稲田)



小嶋 靖夫(菅)



太田 毅(生田)



関 正義(生田)



小林 騰(柿生)



吉垣 忠(柿生)



長瀬 和徳(柿生)



長谷川瑞英(柿生)

柿生支部 料理教室 部員加入を推進



参加者は手際よく6品を作りました

女性部柿生支部では7月14日、部員加入推進を兼ねた料理講習会を開き、会場の柿生中学校で、夏バテ防止の野菜料理を作りました。

同支部では、部員加入の推進に工夫が必要と、柿生中学校卒業生で、3分間クッキングでお馴染みの料理研究家藤井恵さんを講師に

招き、プロの技を学びました。

参加者は46人。メニューは、地元野菜をメインに、南瓜しし唐牛肉の香味炒め、冬瓜フリッター、なすの田舎煮など全6品。講師のデモクッキングを見ながら、プロの技と味付けのポイントを習得。テレビ収録の裏話なども聞きました。

セレサモス来場者100万人達成 オープンから3年3か月

JAの農畜産物直売所「セレサモス」の来場者が7月15日に100万人を達成。100万人目となった来場者に柴原組合長から花束と記念品の「宮前メロン」、「禅寺丸柿ワイン」が贈られ、達成記念を祝いました。

100万人目となった麻生区王禅寺西の田中大三郎さんとソノ子さんご夫婦は「新鮮で品数が多いので、毎週1回は訪れます。運がよい方ではないので、驚きました」と喜びを語ってくれました。

セレサモスは、地産地消の

拠点として08年4月にオープン。新鮮で美味しい地場産農畜産物を提供するファーマーズマーケットとして、多くの消費者から愛され、オープンから4か月目で早くも来場者数10万人、10年1月には50万人を達成。それから僅か1年6か月で、今回の100万人突破を実現しました。

また、22日から3日間にわたり感謝フェアを開催。野菜の詰め放題や、東北産のコメなどを販売して被災地を応援する物産展を開きました。



100万人目の来場者に花束と記念品を渡す柴原組合長



感謝フェアで人気の野菜の詰め放題

農政対策委員会 放射線の影響を学ぶ

農政対策委員会が7月27日、本店セレサホール飛翔で行われ、委員75人が23年度の農政活動計画などを確認しました。

また、TPP情勢や相続税納税猶予制度の改正点について講演が行われ、最後に、福島第1原発事故による放射線被害について、帝京平成大学の杉山英男氏が講演。農産物や人体に対する放射線の影響を学びました。



放射線の影響について解説する杉山英男氏

大盛況ひまわり会の集い

年金受給者の会「セレサひまわり会」会員を対象に、毎年開催している「セレサひまわり会の集い」が7月11日から26日まで、3会場8公演が行われ、3,700人を超える会員が参加しました。

20日の高津市民館では、セレサひまわり会会長の柴原組合長があいさつに立ち、JA事業の透明性・健全性について述べ、日頃のご愛顧に対して感謝の気持ちを伝えました。

演芸ショーでは、浮世亭とんぼ・横山まさみさんの漫才、前田有紀さんの歌謡ショー、ゼンジー北京さんのマジックと続き、楽しいひと時を過ごしました。



会員たちを魅了し熱唱する前田有紀さん

被災地復興に立ち上がる

J Aグループ神奈川では、全中から協力依頼があった東日本大震災被災地での復興ボランティア活動を行う支援隊派遣を本格化し、前回の宮城県に続き、7月から1週間交代で岩手県に支援隊を派遣しました。

当JAからは、要請人数を上回る職員が、復興ボランティア活動の趣旨に賛同して参加。派遣先の岩手・宮城・福島各県のJAグループの復興作業現場に赴きました。

今回作業を行った場所は、JAおおふなと管内の陸前高田市の水田と水路で、泥・瓦礫の撤去作業に従事。大型重機が入らない、マンパワーが頼りの場所だけに困難を極めました。



いまだに泥や瓦礫が散乱する農地

みんなのよい食プロジェクト23 武蔵溝ノ口駅前でPR 日吉支店で直売

みんなのよい食プロジェクト23県下一斉街頭PR活動が7月29日、JR南武線武蔵溝ノ口駅前通路で行われ、地産地消の拠点セレスモスのPRチラシと、市内産野菜を配って国産品の良さをPRしました。

配った野菜は、ナスやキュウリ、ピーマンなど約600袋。野菜とセレスモスPRチラシを受け取った主婦は「近くの直売所によく行きます。市内産野菜は安心できて美味しい」と国産品の良さを絶賛していました。

街頭PRに先駆け7月9日、日吉支店を会場に「よい食」活動の一環で市内産農畜産物の直売を行いました。長ネギやトマト、エダマメなどの夏野菜やタマゴなど18品目を持ち込み、農地や個人直売所が少ない川崎南部方面での市内産野菜を求める要望に応えました。

野菜を買い求めた主婦は「定期的に直売してくれると、安全で美味しい野菜が食べれるので、月に数回は開いてもらいたい」と話し、抱えきれないほどの荷を自転車に積んで、大事そうに持ち帰りました。



野菜を配り市内産農畜産物や国産品の良さをPR



市内産野菜を求めて賑わった日吉支店の直売会

ズンドコ体操で健康維持



ズンドコ体操をリズムに合わせて行う参加者

健康大学開校式と第1回講座が7月19日、セレスホール飛翔で行われ、女性部を中心に145人が参加、要介護にならない予防運動について学びました。

健康寿命100歳プロジェクトの一環として「介護を必要としない生活を送るため」が開校のテーマ。第1

回は、かながわ健康財団の高垣茂子氏と佐々木祥子氏を講師に招き「体力測定とロコモ予防で健康力アップ」と題し、予防と対策を兼ねたオリジナル「きよしのズンドコ体操」を全員で行い、動作を確認しながら、リズムに合わせて動き、楽しく健康な汗を流しました。

安心して暮らせる地域社会を目指す

健康管理・福祉対策推進委員会が7月27日、本店セレスホール飛翔で行われ、委員と役員合わせて70人が出席、今年度の健康管理・福祉活動について活動内容を確認しました。

委員会では、昨年の活動経過や今年度の計画について報告が行われました。今年度は、地域に根ざした高齢者福祉の推進、健康管理推進活動の強化をはかり、安心して暮らせる地域社会を目指します。

最後に「健康寿命100歳プロジェクト」の取り組みにつ

いて、全中の今井^{のりゆき}準幸氏が講演。健康寿命を創造し、一人ひとりに生きがいとゆとりをもたらす活動を展開することが、健康寿命100歳プロジェクトのポイントと解説しました。

また、取り組み内容では、手軽にできるといった点で、ウォーキングを紹介。認知症予防、筋力強化をはじめ、仲間づくりや組織活性化が図れるといったウォーキングの効果を力説。さらに、地域の特性を生かした取り組みへの工夫が重要と話しました。



地域の特性を生かした取り組みが必要と説く講師の今井氏



熱心に聞き入る委員たち

今年の出来映えを披露

川崎市の特産品で知られる「宮前メロン」の出荷が始まり、生産者を代表して野川の井上国夫さんが7月8日に本店を訪れ、柴原組合長に今年の出来映えを披露しました。

井上さんは「今年は低温が続いたので心配しましたが、出来は良い」と話し、試食した組合長も「美味しい」と絶賛しました。



組合長にメロンをわたす井上国夫さん

アゼリアで地産地消野菜と加工品が一堂に

川崎市地産地消推進協議会は、JR川崎駅東口の地下街アゼリア・サンライト広場で、第1回かわさき地産地消フェアを開き、多くの買い物客で賑わいました。

川崎産の農畜産物や加工品を、多くの市民に知ってもらいたいと開催したもので、会場にはトマトやキュウリ、ナスなど夏野菜15品目。新鮮なタマゴとらっきょう漬けや梅ジュースなど加工品も並べられ、人気を集めていました。



人気を集めた加工品ブース

同時開催した夏季農産物品評会は川崎南部地区では初めて、審査後に即売が行われ、短時間で完売しました。



逸

ITSU

私の好きなこと

押し花で作った絵

押し花を使って絵を作るようになったのは10年ほど前から。「友達から、作品を見せてもらった時に、その素晴らしさに感動を覚え、自分もやりたいと思ったのがきっかけでした」。

見本となる絵や写真を参考に、押し花をバランス良く並べて作ります。材料となる押し花は、自宅の庭に咲く桜草やスミレなどの野草のほか、生け花をしているお嫁さんに余った花などを貰って作ります。材料として集めた花は専用の紙に挟み、さらに新聞紙の間に入れ、重しを乗せておけば、10日



ほどで使えるようになるそうです。絵を作るときに、特に難しいのは、アジサイの花を使った絵(写真上)のように、奥行きのある画面を作ること。「大きさの違う小さな花を順序だてて並べ、遠近のバランスをとりながら、全体の形を整えるのが大変です」。

こうした苦勞を幾たびか重ね、その上で思ったような出来映えを得たときの感慨は大きく、「次はもっと上を目指そうという意欲が湧いてきます」。今回は、華嚴の滝のような大きな滝を押し花で作りたいと新たな構想を練っています。

PROFILE

趣味は押し花の他、民謡と水泳。とくに水泳はシニアの県大会に出場するほどの実力者です。



中原区木月
古尾谷たさ子さん



安らぎの杜を訪ねて
まちな鎮守

諏訪社

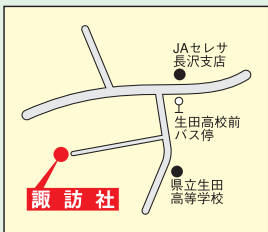
病魔退散に
御利益あり

所在地 多摩区长沢4-7-1
 創建年代 不詳
たけみなかたのみこと
 祭神 建御名方命
 例大祭 9月第1日曜
 交通 小田急線百合ヶ丘駅から
 バス。生田高校前下車徒歩2分

神奈川県神社庁に登録されている神社を紹介しています。



神奈川県神社誌では室町時代に甲州からこの地へ移り住んだ、各務与惣右エ門が故郷の諏訪明神を慕って創建したとしています。拝殿前の木箱に入った石は護り石と呼ばれ、病気の時にこの石をお守りとして持ち帰り、全快した時には、持ち帰ったぶんの倍の数の石を、お祭りの日に奉納するという習わしがあるそうです。戦前までは境内に土俵があつて奉納相撲が行われていました。また、神社の長い参道は鉄砲馬場と呼ばれ、明治のころまでは、農耕馬を競争させる馬駆けが行われていたそうです。

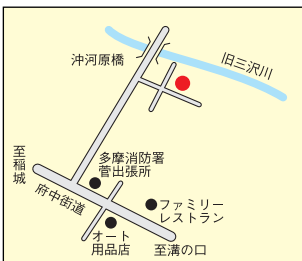


がんばる都市農業

多摩区菅馬場 濃沼サト子さん

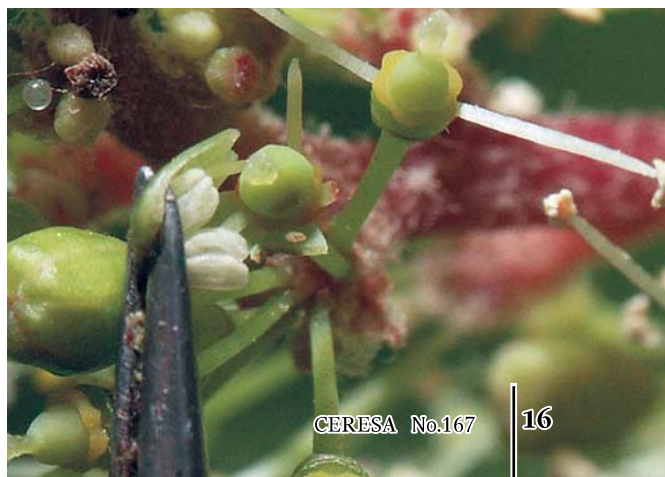
自家消費する野菜は自分で作りたいと始めた畑仕事。8㎡の農地で、キュウリやナス、トマトやカボチャ、インゲンなどの夏野菜から冬野菜まで20種類以上を作ります。80才を過ぎてもかくしゃくとしている健康の秘訣は「畑仕事と週1回の手芸教室に通うこと」と話します。

力のある耕耘作業や、植え付け作業は家族と協力。庭先でのぼり旗を立てて直売もします。基本は無人ですが、畑仕事をしていると「美味しかった」と声をかけてくれて励みになり、得意のネギの作付けにも力が入ります。



販売方法：庭先無人販売
 販売日：荷があれば毎日のぼり旗が目印
 販売時間：午前9:00～昼まで
 単価：オール100円 ナスとキュウリのセット売りもします。





永年ブドウの栽培を続け、これまで50種を超すさまざまな品種を育成してきた鮫島さん。こうした試行錯誤を重ねる努力の源泉は「ここでしか手に入らないブドウを消費者に提供したい」との思いと、自分自身の「まだ見ぬ美味しいブドウとの出会いを果たしたい」との思いからでした。

ナシやモモは結実するまで数年かかりますが、ブドウは1年半で結果ができます。そのため新たな品種に挑

『新品種にかける思い』

宮前区土橋 鮫島 隆 さん

戦するリスクが、他の果樹より少ないこともあり、14年前に挑戦を決意。書を頼りに独学で技術を習得し、研究の為に機材も手製で揃えました。しかし、新品種の開発は並大抵の事ではありません。「種が取りやすく、

戦するリスクが、他の果樹より少ないこともあり、14年前に挑戦を決意。書を頼りに独学で技術を習得し、研究の為に機材も手製で揃えました。しかし、新品種の開発は並大抵の事ではありません。「種が取りやすく、

宮前交通安全協会の支部長や土橋町内会副会長など、地域の様々な活動に携わっていることから、忙しい日々が続く鮫島さん。季節によっては農作業にも影響がありますが、地域のためにと頑張っています。

受粉しやすい品種を選んでも、天候や苗の相性など様々な要因で上手く育たないことが多く、苗が育ってもほとんどは実がなりませんでした」。そうした困難に立ち向かい、10年以上の歳月と30本以上の苗木を育てた結果、4年前、ついに新たな品種の結実に成功しました。

「実がなっているのを見たときは嬉しかったですね。実が落ちにくく、種なしにしやすいので、扱いやすい品種です。山形の育苗業者から取り扱わせてほしいとのオファーが入り、品種登録も考えていますが、まだ名前も付けていません」。

現在鮫島さんの果樹園では、ピオーネが、生産量の8割を占めていますが、残りの2割で新品種を栽培しています。

「紺色で深い甘みのピオーネと、赤くさっぱりした甘みの新品種の取り合わせは、買いに来る人にも評判が良く、これからも時間をかけて育てていきたい。交配作業は時間と手間が掛かり、今は忙しさもあって一時中断していますが、また挑戦したい」。



ウリ科ニガウリ属で熱帯アジア、アフリカが原産。正式名は、ツルレイシ。美味しいニガウリは、イボが密集し皮に艶があり、ずっしり重いのが特徴です。新鮮で苦みが少ないものほど皮の色合いに艶があります。購入後は、なるべく早く消費しましょう。残った場合は、洗わずにワタと種を取り除いて冷蔵しておくこと栄養を失わずに保存できます。調理する時は、ワタを取り除き、輪切りにして塩もみをすると苦みが和らぎます。

独特の苦みとゴツゴツとした外見が特徴のニガウリは、エコでヘルシーな夏の定番野菜。特にこの夏は、緑のカーテンとして人気を集めており、暑さ対策としても大活躍しています。

ニガウリは、需要の高まりから生産量を増やすために、収穫率の良い「群星^{もろふし}」や冬場でも栽培可能な「汐風」といった品種が開発され、1年中市販されるようになりました。この他に、白くて苦みの少ない「白れいし」、肉厚でジューシーな「あばしごーや」などの品種があります。

そんなニガウリには、ビタミンC、カリウム、カロテンなどが豊富に含まれています。特にビタミンCが多く、キュウリの約10倍もの含有量。これは加熱しても壊れないのが特徴的で、調理をしてもしっかりと栄養を摂取することができます。

さらに果皮に含まれているモデルシンという苦み成分には、整腸作用、疲労回復効果がある他、胃液の分泌を活発にし、食欲増進を促します。また、種には、血糖値降下作用や精力増強作用、葉や茎には、解毒・鎮痛作用があると言われています。

まだまだ暑い日が続きますが、ニガウリのパワーをもらい元気に過ごしましょう。

ニガウリの肉味噌

【材料・4人分】

- ・ニガウリ…1本
- ・豚バラ肉…150g
- ・味噌…60g
- ・砂糖…大さじ2
- ・塩…小さじ1
- ・みりん…大さじ2
- ・酒…少々
- ・ゴマ…適量

【作り方】

1. ニガウリを半分カットして、スプーンで中の白い部分を取り除く。
2. ニガウリを薄切りにして塩もみをして、10分ほど水につける。その後お湯で茹でて、冷水にさらす。
3. 豚肉を茹でて、冷水にさらす。
4. 味噌、砂糖、塩、酒、みりんをボールに入れて混ぜ合わせる。
5. 4に豚肉とニガウリを入れて混ぜ合わせる。
6. 最後にゴマをふりかけて出来上がり。



ハクサイの夏まき秋冬どり栽培

ハクサイは冷涼な気候を好み、高温期ではウイルス病や軟腐病の発生が多くなります。発芽・生育適温は20℃前後ですが、外葉の生育期は30℃以上にも耐えられ、結球期は15℃程度が適温です。



栽培には直まき方法と移植方法があります。直まき栽培は省力的ですが、幼苗期に気象災害や病害虫の被害を受けやすく、移植栽培は育苗管理や定植に労力を要しますが、セル苗の利用により、育苗の省力化が図られるようになりました。

【品種】

生育日数により、早生種(50~70日)、中生種(70~80日)、晩生種(80~100日)に分けられ、早生種は暑さに強いので早くから播種でき、また、早く結球するので遅くまで播種できます。中晩生種は一般に大玉に育ち、食味も良いですが、播種期が限定されます。

結球特性や耐病性等により多くの品種がありますので、収穫時期や目的に合わせて適正な品種を選定します。

【育苗方法】

播種は極端な早播きは避け、8月下旬~9月上旬に行います。株数が少ない場合はポリ鉢が良いですが、株数が多い場合はセルトレイが便利です。セルトレイは72穴か128穴を使用し、床土は市販の育苗培土を利用します。1穴1粒づつ播種し、覆土して軽く鎮圧します。十分に灌水して、乾燥防止のためトレイ上に新聞紙を掛けておきます。発芽後の灌水は1日1回朝行い、本葉2枚以上の場合で晴天日には1日2回行います。育苗日数は18日~25日程度です。

【施肥・定植・管理】

肥料はa当たり(例)堆肥150kg、タイニー10kg、化成肥料(各成分10%程度)15kgを全面施用しておきます。栽植密度は早生種は畦幅60cm、株間45cm、中晩生種は畦幅70cm、株間45cm程度です。また、病害虫回避の為、ほ場の排水をよくします。

定植15日後頃に化成肥料を約5kg/aを追肥し、土寄せします。

【主な病害虫と防除農薬】

べと病：ダコニール1000(収穫7日前までに散布、2回まで使用可能)、アミスター20フロアブル(7日前、4回)

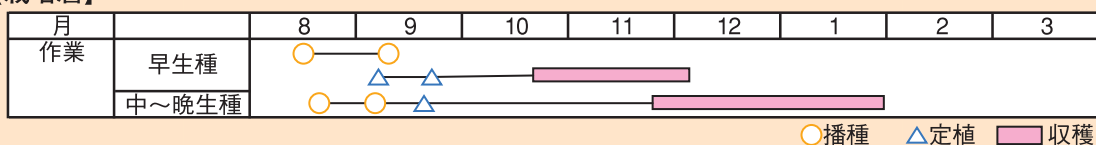
軟腐病：アグリマイシン100(14日前、3回)、バリダジン液剤5(3日前、3回)

アオムシ・ヨトウムシ・コナガ：ジェイエース粒剤(定植時及び生育期、3回)、アフーム乳剤(7日前、3回)、プレバソンフロアブル5(前日、3回)

【収穫】

頭部を手で押して、硬くしまっていれば収穫できます。越年に収穫するものは結球した頃、外葉を紐でしばり、さらに株上に不織布や寒冷紗をかぶせて防寒します。

【栽培暦】



※JAでは、本欄で執筆している営農技術顧問による営農相談コーナーを開いています。病害虫被害の場合は、被害作物もご持参くださると助かります。開催日は22ページをご参照ください。

◆葬儀社は24時間365日年中無休の対応◆

葬儀社として営業していれば、年中無休は当然のことで、その迅速な対応も求められます。思いもよらない「時」や「場所」で、不測の事態が発生するわけですので、そうでなければ困ります。

近年では、事故などの場合を除き、ほとんどの方が病院での闘病生活をされていますので、危急の事態に備え、当番制で病院に詰めている葬儀社も存在します。大体、2、3社による交代制です。

万が一の身内の不幸に遭遇して動転しているときなど、この存在はとても頼もしく感じられますが、必ずしも、その後の一連の葬儀サービスにおける信頼感とは別物であることに留意する必要があります。

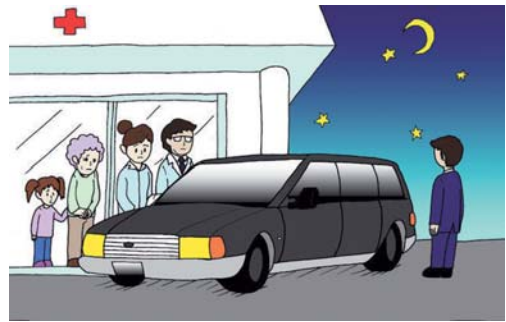
看護師の口添えもあったりして、搬送や葬儀を頼まなければいけないように受け取りがちですが、単に病院と葬儀社の契約で、詰めているだけです。病院が遠方のときなどは、搬送だけを頼むのも良い方法です。

このように、葬儀社は深夜、早朝問わず営業していますが、火葬場には休みがあって、六曜でいう友引日が該当します。そのため、友引の次の日が混み合いますので、ご希望の時間がとれないことも多々あります。

J A セレサ葬祭センターはJ A セレサ川崎の子会社として、葬儀社の体制をもって営業しております。365日深夜、早朝にかかわらずご一報を受け次第、搬送の手配はもとより、ご自宅ないし指定の場所にお伺いして、ご安置の確認をさせていただきます。

その後の葬儀サービスにつきましても、丁寧な説明と分かりやすさで、ご遺族の不安を和らげることを念頭に心掛けております。

頼んで良かった、セレサで良かったと思っただけの葬儀社でありたいと365日努めております。
(セレササービス株式会社)



9月の運勢

モナ・カサンドラ

おひつじ座 3/21~4/19

【全体運】あれこれ考えすぎてしまう傾向。「笑う門には福来る」を思い出し、笑顔で過ごして。読書も幸運【健康運】少しでも疲れを感じたら休養を【幸運を呼ぶ食べ物】ブドウ

おうし座 4/20~5/20

【全体運】レジャー運が活性化。家族など行楽地に出掛け、英気を養って。にぎやかな場所ほどツキあり【健康運】自分の体質に合う健康法が見つかりそう【幸運を呼ぶ食べ物】サトイモ

ふたご座 5/21~6/21

【全体運】珍しく感情的になりやすい時期。結論を急がず落ち着いて検討して。金運は半ばに回復の兆し【健康運】適度に運動してストレス発散【幸運を呼ぶ食べ物】蒸しパン

かに座 6/22~7/22

【全体運】人気運に恵まれる月。性格の良い面がアピールされ、周りから慕われそう。面倒見の良さを発揮すると◎【健康運】規則正しい生活が元気の秘訣【幸運を呼ぶ食べ物】枝豆

しし座 7/23~8/22

【全体運】穏やかな雰囲気になれそう。趣味や好きなことに意識を向け、プライベートを充実させると好結果に【健康運】暴飲暴食に注意。深呼吸でリラックス【幸運を呼ぶ食べ物】栗

おとめ座 8/23~9/22

【全体運】興味を感じていた事柄をスタートさせるチャンス。過去に駄目だったことも再トライを。自己投資も大賛成【健康運】血行促進には散歩がオススメ【幸運を呼ぶ食べ物】ズイキ

てんびん座 9/23~10/23

【全体運】小さな喜びが沢山ありそう。常に感謝の気持ちを持って過ごして。金運は中旬に上昇傾向【健康運】一人の時間を楽しんでリフレッシュ【幸運を呼ぶ食べ物】みそ田楽

さそり座 10/24~11/22

【全体運】好奇心を刺激され、色々なことに興味を感じる時期。インターネットやメールといったジャンルもラッキー【健康運】シェイプアップに運動を【幸運を呼ぶ食べ物】そうめん

いて座 11/23~12/21

【全体運】自分の考えにこだわりがち。持ち前の柔軟性を発揮して。気分を変えるにはクラシック音楽を聴くと効果的【健康運】冷房による冷えに注意【幸運を呼ぶ食べ物】お団子

やぎ座 12/22~1/19

【全体運】アクティブに動き回れそう。守りより攻めの姿勢が大切です。海外に興味を持つのも正解【健康運】マッサージをすると体調に好影響あり【幸運を呼ぶ食べ物】オムレツ

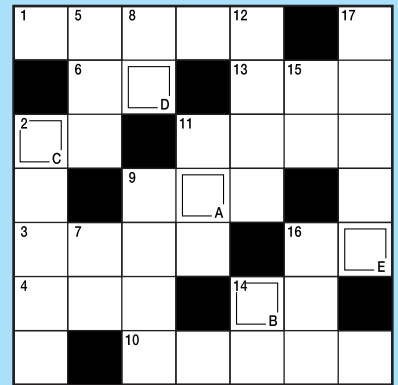
みずがめ座 1/20~2/18

【全体運】色々なことが中途半端になりやすい期間。あれこれ手を出すのは×。一点に集中して【健康運】食べ過ぎず、栄養バランスを大切に【幸運を呼ぶ食べ物】芋ようかん

うお座 2/19~3/20

【全体運】気分の浮き沈みが激しくなりそう。一人で悩まず信頼できる人に相談を。交際費は増すものの、有益に使えそう【健康運】慌てず、ゆったり構えて【幸運を呼ぶ食べ物】ハトムギ

クロスワードパズル



タテのかぎ

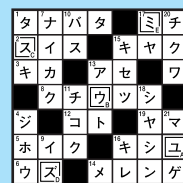
- ②水晶玉を見たり、ぜい竹を数えたりする人や職人
- ⑤田んぼの見張り番
- ⑦雨具の一つ、着ている虫もいます
- ⑧俳句には基本的に一つ読み込みます
- ⑨右利きの人が茶碗を持つ方
- ⑩公私の___をきちんとつける
- ⑫「はあ…」とつきます
- ⑭天井と向かい合っています
- ⑮赤、青、黄、緑、白…
- ⑯神戸市にある名湯、___温泉
- ⑰新幹線の___券と特急券を買う

ヨコのかぎ

- ①棒が1本あったとさ♪
- ②肉や乳を採る家畜
- ③腫が潤んだ状態
- ④神仏に手を合わせてささげる
- ⑥江戸時代のタクシー的乗り物
- ⑨煮物にすると美味しい海藻
- ⑩マグロの赤身と酢飯をのりでぐるり
- ⑪9月の第3月曜日は___の日
- ⑬___挽回のため努力する
- ⑭美人の歩く姿はこの花のよう
- ⑯悪気はないんだ、言葉の___だよ

6月号のこたえ

ユウスズミ



応募総数通31通
当選者5人の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。
*住所・氏名等の記入忘れがある場合は正解しても無効となりますのでご注意ください。



◆節電◆

今年も生活パターンが随分と変わりました。エアコンが恋しい季節ですが、我慢をして扇風機が自然風を取り込んでいます。また、庭にはアサガオが芽を出し、どんどん成長しています。涼みになればいいなと思っ

ます。
(麻生区・福岡さん)

◆仲良し夫婦◆

J R横須賀線の新駅に繋がる道で初老のご夫婦がとても重たそうなバッグを二人で仲良く持つて歩いていました。その光景を見て、なんだかほのぼのとした気持ちになり、私もそんな風に年を重ねられたらいいなあ…と思います。

(中原区・スイカちゃん)

◆ミカン◆

今年の春にJA橋支店でミカンの苗を買い、空き地に植えしました。先日のぞいてみると、葉の陰に隠れて小指の先ほどの青い実が付いて嬉しくなりました。どの位の甘さになるのか今から楽しみです。

(高津区・上野さん)

◆涼しくなりますように…◆

省エネなのに今年は6月からもう暑いですね。でも、無駄な電源を抜いて、首には冷たいタオルを巻き、庭に水をまくなど工夫をして頑張っています。

(幸区・菱沼さん)

◆蓮の花◆

7月上旬に西福寺(高津区梶ヶ谷)で蓮が見頃を迎え、白やピンクなど色鮮やかな花を咲かせました。



◆ひと工夫で美味しいパン◆

5月号の機関誌に掲載されていたさつまいもチーズケーキを小麦粉ではなく、おからの粉でできているホットケーキミックス粉に替えて、砂糖を少なめに作りました。とても美味しかったです。(中原区・関戸さん)

◆美味しい野菜◆

北陸から転勤1年目でやっと美味しい野菜に出会えました。直接農家の人とお話し出来たり、セレサモスに行くのが楽しみです。(麻生区・栗田さん)

◆投稿のお礼◆

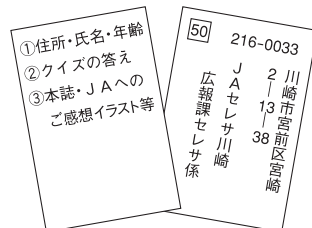
たくさんのお便りありがとうございました。これからも感想をお待ちしております。

(JA広報課)

応募方法

■このコーナーでは身近なできごと等、皆様からお便りをお待ちしております。お便りをいただいた方およびクイズにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方に図書カード1,000円をプレゼントします。送付方法は、郵送で、お名前(匿名の方はペンネームを添えて)、住所、電話番号、年齢を入れて右記まで送付してください。写真の掲載をご希望される方は、プリントを封書でご送付ください。※匿名を希望される場合は必ずペンネームをお書き添えください。個人情報保護法に基づき、応募された方の個人情報は賞品発送以外には使用しません。

◎締切 9月16日(金)必着



お寄せ頂いた感想、イラスト等は本誌で掲載することがあります。

『平成23年度税制改正と今後の相続への備え』開催

税制改正に関する内容を現在の情勢をふまえて説明します。

講師：JA全中顧問 税理士 柴原一氏

日時：平成23年9月4日(日)午後2時～4時

会場：本店セレサホール飛翔

対象：組合員およびご家族の方

お申し込みは、お近くの支店窓口まで

お問い合わせは、資産相談課(TEL877-2509)

または各支店窓口まで

東日本大震災「緊急募金活動」が終了

3月18日から5月27日までにいった農業やJAの被害に対する復興支援のための緊急募金活動が終了しました。ご支援とご協力ありがとうございます。

お寄せいただいた募金は被害県の各JAグループ災害対策本部へ謹呈し、被害者支援や農業復興支援のために使用させていただきます。

募金総額

JAセレサ川崎募金金額 6,719,497円

(JAグループ神奈川募金総額 62,938,154円)

廃プラスチック・廃ビニール回収実施日

9月20日(火) JAセレサ川崎書庫センター

9月21日(水) 黒川営農団地管理倉庫

回収時間はいずれも 午前9時30分～午後3時

回収品目

・塩化ビニールフィルム(農ビマークのあるもの)

・塩化ビニール以外のフィルム(ポリマルチ・ポット、農PO・ポリ、育苗箱、ポリタンクetc)

・寒冷紗、防鳥網、米ヌカの空袋

防災農地の登録受付始まる

平成23年度川崎市民防災農地の登録受付を9月1日～26日まで行います。

防災農地登録制度は、農地を災害時に市民の安全と円滑な復旧活動に、役立ててもらおうというもので、生産物の保証や農地の原状回復を保証しています。登録対象農地は、生産緑地地区内か、概ね500平方メートル以上の一団の農地です。農業の多面的機能の役割として高く評価されています。

晴れの入賞者

第14回JAセレサ川崎夏季農産物品評会

7月3日川崎アゼリアサンライト広場出品数170点

▽優秀賞＝トマト・松井秋彦(初山)、ナス・杉田功

(菅生)、エダマメ・本多武司(上作延)、タマネギ・

大久保信義(末長)、ジャガイモ・関口博満(南生田)

▽優良賞＝トマト・城所秀男(初山)、同・松井秋彦

(同)、同・森みどり(久末)、同・井上国夫(野川)、

ミニトマト・小島仁志(同)、キュウリ・山田邦夫(岡

上)、ナス2点・山田悠二(白幡台)、カボチャ・本多

武司(上作延)

そ菜部高津支部第32回枝豆品評会

7月14日 高津支店 出品数13点

▽優秀賞＝グリーン80・加藤勉(下作延)

▽優良賞＝ユキムスメ・黒川金次(北見方)、元気

ムスメ・木所教次(下作延)

平成23年度川崎市ナス立毛共進会

7月26日 市内巡回 出品点数10点

▽特選＝千黒・鈴木栄(上作延)

▽入選＝とげなし千両2号・森和浩(久末)、千両2号・

山田悠二(白幡台) 敬称略()は住所

組織 だより

北浦支部(菅地区)

組合員数は44世帯。府中街道を挟んで菅北浦1・2・3丁目、福田堤と菅1丁目の一部がテリトリー。ナシの栽培が盛んですが、柿やみかんなどの果実も盛んに栽培され、技術が優れていて、品評会などで上位入選を果たしています。また、今でもナシ栽培の他に、4軒が米づくりに励んでいて、かつての面影を残しています。

支部長の安藤勲さんは、農業まつりやリーダー研修会などへの参加を積極的にはかり、支部活動の強化と活性化をはかっています。



※今回は北加瀬支部(日吉地区)と資産管理部会です。

きのこ部

部員数は11人。多くの消費者を抱える有利な立地条件を活かして、直売やセレサモスへの出荷を中心に、菌床や原木栽培で新鮮なきのこを提供。また、農業まつりや支部活動などにも積極的に関わっています。

技術改善にも前向きで、最新技術を試してみたり、研究会や講習会を開催して技術の研鑽に励んでいます。また菌種などの生産資材を共同



購入、県品評会や共進会への参加を通じて、経営の向上や部員間の親睦をはかっています。

4日(日)	『平成23年度税制改正と今後の相続への備え』開催(14時～、本店)	
14日(水)	感謝の集い(9月開催1日目、川崎市教育文化会館)	
15日(木)	感謝の集い(9月開催2日目、川崎市教育文化会館)	
16日(金)	感謝の集い(9月開催3日目、川崎市教育文化会館)	
19日(月)		敬老の日
23日(金)		秋分の日
30日(金)	経済センター・パーシモンの棚卸し休業(正午～3日まで)	
※日程等は変更されることがあります		

セレサのDATA

貯金	1兆2,252億円
貸出金	4,849億円
長期共済保有高	1兆6,141億円
年金共済保有高	287億円
購買品供給高	345百万円
販売品取扱高	267百万円
施設事業契約高	32億47百万円
組合員数	54,357人
うち正組合員	5,947人
准組合員	48,410人
	(7月31日現在)

営業時間のご案内

☆支店窓口…平日9:00～15:00
 ☆A T M…平日8:00～19:00、土日祝9:00～17:00
 ☆経済センター…平日・土曜9:00～16:30(月末15:00)
 ☆セレサパーシモン…平日・土曜9:00～16:30(月末15:00)
 ☆セレサモス…4月～10月10:00～17:00(定休日：水曜・年末年始ほか)
 ※節電対策により、営業時間が一部変更になっております。今後も変更する場合がございますのでご了承ください。

9月の営農相談コーナー

☆J A 経済センター(宮前区有馬2-13-1)…2日(金)、7日(水)、9日(金)、14日(水)、16日(金)、21日(水)、28日(水)、30日(金)
 ☆セレサパーシモン(資材店舗：麻生区片平2-30-15)…1日(木)、6日(火)、8日(木)、13日(火)、15日(木)、20日(火)、22日(木)、27日(火)、29日(木)
 時間：9:00～16:00
 相談員：J Aの営農技術顧問
 その他：予約は不要です。

9月の経営相談日(法律)

6日(火) 9:30～11:30 高津支店
 13日(火) 13:30～15:30みなみ支店
 13:30～15:30 柿生支店
 20日(火) 9:30～11:30 宮前支店
 13:30～15:30 中原支店
 25日(日) 9:30～11:30 梶ヶ谷ビル
 27日(火) 13:30～15:30 稲田支店
 相談時間は原則30分程度。要予約。
 予約は前日16:00までに各会場支店の総合相談担当・梶ヶ谷ビルは本店資産相談課まで。予約のない方は、予約者の相談終了後となります。

9月の年金無料相談会

1日(木)みなみ支店
 4日(日)稲田支店(※)
 6日(火)新百合丘支店
 11日(日)小杉支店(※)
 高津支店(※)
 15日(木)新城支店
 27日(火)小向支店
 予約は開催支店まで。但し、※は事業推進部(TEL877-2140)へお願いいたします。

9月の休日住宅ローン相談会

10日(土)宮崎支店、菅支店
 11日(日)橘支店、上作延支店、百合丘支店
 17日(土)大師支店、新城支店
 24日(土)御幸支店、久地駅前支店
 25日(日)小向支店、梶ヶ谷ビル(※)、菅生支店、新百合丘支店
 時間は9:00～15:00(※は10:00～16:00)
 各会場支店または下記ホームページからご予約できます。予約がない方はお待ちいただく場合がございます。専用ホームページ(<http://www.jaceresa.jp/>)
 ※節電対策により、各相談会の開催を見直しさせていただく場合があります。詳しくは、開催店舗にお問い合わせください。

9月のセレササロン

1日(木)10:00～15:00 中原支店
 7日(水)10:00～15:00 高津支店
 14日(水)10:00～15:00新百合丘支店
 利用料：1回800円
 対象：おおむね60歳以上の方
 お問い合わせ・お申し込み：本店生活福祉課まで。TEL877-2509

セレササービスのご案内

セレササービス(株)はまごころを込めたご葬儀をご提案し、ご奉仕でお応えしています。当社は川崎市内で唯一のJ Aが100%出資している葬祭センターです。
 危急のご連絡・ご相談は下記のフリーダイヤルまで。
 フリーダイヤル みおくる ところ
0120-3096-56
 (24時間受付・年中無休)
<http://www.ceresaservice.co.jp>

お宝拝見

大切なモノ・ことば

江戸時代の柱や扉を使った家



成川荀さんは、江戸時代から続く成川家の四代目。自宅には江戸時代に作られた柱や扉などが、今も使われ続けています。戦前は新鶴見操車場の場所にありましたが、操車場の建設で現在の東小倉の地へ移築し、先祖代々の息吹を今も大切にしています。

子どもの頃からこの家で生活している成川さんにとっては、門に大八車がぶつかった凹みや、いつも見ていた廊下の柱のフシの模様など、すべてがお宝。「先の大戦で空襲を受けても燃えませんでした。補修を加えながら住んでいます」。成川さんにとって、この家は先祖から受け継いだ大きな物語でもありました。ここに関わった多くの人々の生きた証として、「この家を後世に残す」。それを自身の使命とも感じています。

幸区東小倉

成川 じゅん 荀さん



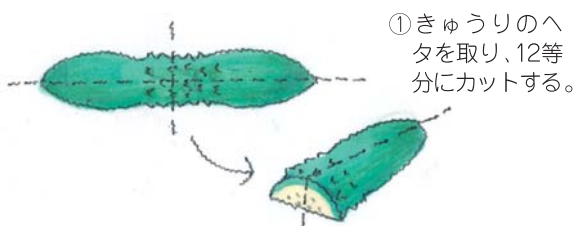


材料

- ・きゅうり…2*。
- 〈漬け物液〉
- ・砂糖…200~250g(お好みで調節)
- ・みりん…50cc
- ・醤油…2合
- ・酢…少々
- ・塩…少々

きゅうりの醤油漬け

作り方



⑤作業が3回済んだら、冷蔵庫で冷やして完成。

ワンポイントアドバイス

多摩区菅北浦 安藤登里子さん

唐辛子やしょうがを加えるとピリッとスパイスがきいて食欲増進しますよ!!また、漬け物は保存できるので食べ物が傷みやすい夏に最適です。

